

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 広島県地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統)の概要

協議会の構成員

- ・広島県 ・三次市(関係市代表) ・坂町(関係町代表)
- ・公益社団法人広島県バス協会 ・中国運輸局交通政策部長
- ・事業者(5者) ・利用者(4者) ・学識者(5者)

協議会の開催状況

1回(対面)、1回(書面審議)

【事業の目的・必要性】

広島県の乗合バスの輸送実績は、モータリゼーションの進展、人口減少、少子高齢化など、地域社会経済の変化に伴う利用者の減少により、昭和43年度をピークに年々減少し、ピーク時の約3分の1となっている。バス事業者の経営環境は大変厳しくなっており、事業の採算性悪化により、バス路線が廃止されるなど、住民の生活交通の維持・確保が困難となっている。一方で、住民の生活圏は広域化が進んでおり、各地域間を結ぶバス路線の必要性は一層高まっている。

県民の日常生活を維持するため、地域間幹線系統への支援を実施し、路線の確保維持を図ることは不可欠である。

【事業の区域】

- ・広島県全域

【事業の目標と効果】

生活交通路線として必要なバス路線のうち、本計画の系統について運行を3力年にわたって継続し、広域・幹線的路線を維持することを目指す。

地域間幹線バス路線を維持することにより、地域で生活する交通制約者の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。

広島県

令和6年度分

事業者数

系統数

車両減価償却費 車両数

15

52

40(10)

* 車両減価償却費車両数の()は、当該年度に購入した車両数(内数)

この1年間の 利用者・地域住民の意見の反映

○広島県地域公共交通協議会を開催し、利用者代表の意見を聴取。今後事業者、市町と連携し対応する。

※利用者等代表
広島県高等学校PTA連合会会長
広島県社会福祉協議会
広島消費者協会
広島県観光連盟

<意見>

・高齢者はバス停までの移動が大変だったり、昨今導入されているシステム等もスマホに不慣れで利用できなかったりする。そういった視点も持って進めてもらいたい。

事業の適切性

○計画通り事業は適切に実施された

目標・効果達成状況

○アセスメント形式により、系統ごとに評価
ほとんどの項目について、「非常によい」または「概ね良い」となっているものの、系統によっては、各項目が「改善の余地がある」場合が見受けられる。また、事業者の課題意識も高まっており、今後、改善に向けて取り組んでいきたい。
「改善の余地がある」となっている系統については「維持手段」「PR」「住民理解」の項目が比較的多く選択されている。

今後の改善点

- 地域公共交通網形成計画に基づき、市町と共同しての再編の検討
- ダイヤの見直し改正・運行計画の見直し
- 利用実態に即したダイヤの見直し、系統再編
- 他の交通モードとの接続留意
- 貨客混載等他事業者との共創
- 自治体等との連携による地域住民へのPR強化
- バスのバス停への接近情報を反映させた経路検索の活用
- 分かりやすい時刻表や路線図によるPR
- 地域住民と連携した生活交通の維持
- 新たな決済システムの導入による利便性の向上

令和6年度 広島県における地域公共交通施策

広島県の地理的特徴

陸上交通

なだらかな中国山地等に、小規模な拠点地域や集落が、分散的に存在

海上交通

本土と近距離の瀬戸内海上に、離島や、架橋で結ばれた島が、広域的に存在（有人島33）

生活交通の課題

モータリゼーションの進展や、人口減少、少子化、産業構造の変化等により、利用者が減少し、事業者の経営が悪化

民間事業者路線の減便や廃止が相次ぎ、住民の生活に必要な生活交通の維持が困難化

市町による代替運行路線の増加により、市町財政における生活交通の負担額が増大

生活交通の再編

施策の体系

陸上交通と海上交通が相互に補完しあう、効率的で持続可能な生活交通体系の構築

移動活発化

総合的な乗換改善
・公共交通ネットワーク
情報・移動活発化推進事業

デジタル技術を活用した地域で支える新しい交通サービスの社会実装への支援
・広島型MaaS推進事業

バス

広域的な民間事業者路線の維持

- ・地域間幹線系統補助（国庫補助）・・・52系統
- ・広域生活交通路線補助・・・60系統

市町等が運行する路線バスやデマンド交通の運行支援

- ・市町生活交通運行支援事業・・・343路線

乗合バス事業者路線再編調査の支援

- ・乗合バス事業者路線の再編に係る計画策定経費への補助

航路

離島のナショナルミニマムの確保

- ・離島航路補助（国庫補助）・・・7航路

島しょ地域の暮らしや経済活動に不可欠な航路の将来にわたる安定的な運航の維持・確保

- ・生活航路維持改善事業・・・14航路

鉄軌道

交通機関の移動円滑化の推進

- ・鉄道駅バリアフリー化施設整備補助事業

三セク・井原鉄道の安定した運行の確保

- ・井原線鉄道基盤設備維持費補助金（県・福山市）

鉄道網を活用した地域交流の拡大等の取組を支援

- ・鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業